

表紙の“人” Mr.フィギュア

今月の一言



そちは、もしやお代理か？

早いものでお正月、成人の日、節分が疾風のように去ってゆく。日々報道されるトランプ発言に落ち着かないまま、もう桃の節句である。小生の地元・愛知では天下の奇祭国府宮の裸祭りが過ぎれば暖かくなるといわれているが、短い春が来た。表紙はひな祭り。由来は平安時代、京都の貴族の子女の「ひなあそび」や流し雛、災厄よけの守り雛は自分の身代りともいわれ、江戸時代からはお嫁入り道具になった。

さて誰でも知ってる童謡の「うれしいひなまつり」の歌詞が間違っているという説をご存知ですか？ 歌では「お内裏様とお雛様二人並んですまし顔」と描かれているが、そもそも「お内裏様」も「お雛様」も、それぞれ男雛と女雛だけのことを意味するのではなく、いずれも二人揃ってのことをいうらしい。また、赤いお顔の右

大臣は誰か、配置は左右どちらが正しいのかなど謎が多い。

そこで今月のMr.フィギュアは神祕に満ちた桃の節句に合わせヘンテコな御内裏？で登場！（先程お内裏様は二人一緒と説明したが駄洒落成立の都合上、ここは童謡にあわせ男雛をお内裏様と解釈）。

しかし同じフィギュアの仲間のようだし、公家顔だが怪しい風貌、「お主はもしやお内裏ならぬ、お代理ではあるまいか？」。見抜かれては仕方あるまい！ 小生は国際社会、人間関係になくてはならない、まさに誰かのせいにしたがる人間様の身代り請負人である。もともと人は防衛線を張り自分を守る弱い保身の塊だからね。故に代理人は必要なのだ！ 以前、TVアニメ「妄想代理人」で少年バットが現代の闇、あらゆる失敗を代理的に受けてくれたように、言いにくいことをフィギュアの私が

代弁すれば憎めないでしょ。

でも米ソの冷戦時代に代理戦争の概念が生まれ、その後朝鮮、ベトナム戦争、世界の紛争は、主体が直接関与せず軍事援助等により他の主体が戦うことが多くなった。確かに敗北の自国の損害を最小限に食い止め、状況に応じて介入でき、兵器の実戦テストとして利用するなどメリットは大きい。が、このお代理は勘弁して欲しい。話は変わるが一月、フィンランドにオーロラを見に出かけた。昨

Mr.フィギュア 本誌の表紙に登場した一見あやしい、どこか可愛い、中年男性。愛犬チャーチルとはいっても一緒。その正体は、実在するビジネスマン恒川憲一氏をモデルに作られたフィギュア。月刊正論の表紙とこのコラムで、厳しく優しく、ダジャレをオシヤレに織り交ぜた温かいメッセージを、読者のみなさまに届けている。

年行つたアイスランドではあまり見られなかったからリベンジである。いつもなら旅行代理店のツアーに参加するのだが、安心かどうかと自由はない。今回は英語ができる娘同行なのでインターネットで好きなホテル、レストランを予約し無事楽しく旅行ができた。



恒川憲一氏 つね
かわ・けんいち クリ
エイター。株式会社

シーエムバー代表取締役社長。大阪芸術大学デザイン科を卒業後、広告代理店勤務を経て独立。15年間、絶えずフィギュアを持ち歩き撮影し、ダジャレを考えている。このコラムの真の執筆者。著書に『フォット、一息』（セルバ出版）。

カ広告業界もエージェンシーに変わる言葉を模索している。代理業はネットのまとめサイトにすり替わっていくのか？ 嗚呼、若き日、憧れの広告代理店の封筒を手にしたモチモチ花形広告マンも、今や次世代のお代理ビジネスをみつけよう！

さてオーロラだが北極圏の境界、サンタ村で有名なロバニエミで最高の天空ショーを見ることができた。快晴と電磁波レベルが9という稀に見る条件が揃ったからだ。しかしとんでもないことが！ 真つ暗な中であせってレンズキヤップを取り忘れせつかくのショットを逃してしまった。なぜ写らなかった！ オラオラして叫ぶ自分が情けない！ オラオラして叫ぶ自分は死んだ。まさにおろろは死んだ。まさにおろろは死んだ。

PS・ウイットなひとこと募集
中「Mr.フィギュアに挑戦！」で検索。サイトもリニューアル。